



し さ く て ん か い
こども施策の展開



第1 ライフステージを通じた施策

こどもの権利
知っているかな？



1 こども・若者が権利の主体であることの 社会全体での共有等

こどもや若者が、自分の気持ちや意見を大切にされながら成長し、安心して暮らせる社会をつくりま
す。

そのために、こどもの権利について学校やチラシ、ホームページなどで広く伝え、先生たちがこども
の意見を大切にできるよう研修を行います。また、人権を大切にする意識を育てるため、学校や地域
で講演会を開いたり、出前授業を行ったりして、いじめや差別のない社会を目指します。

さらに、誰もが快適に暮らせる「心のバリアフリー」を進めるために、人権教育を充実させ、小中学
校では誰もが過ごしやすい社会について学ぶ出前講座を実施します。道徳の授業や研修を通じて、
一人ひとりが相手を思いやりながら、自分の生き方を考えられるように支えていきます。

2 新たな社会を創造する人材を育むための 多様な遊び・学び・体験や活躍できる機会づくり

いろんな学びや
体験をしたい！



こどもや若者が安心して成長し、自分らしく生きられる社会をつくりま
す。

そのために、公園や自然体験、読書活動を充実させ、遊びながら学べる環境を整えます。また、保育
の質を高め、異世代交流や食育を通じて、健康的な生活習慣を身につける機会を増やします。

歩道や公園の整備、子育てしやすい住まいづくりを進め、誰もが快適に暮らせるまちをつくりま
す。

プログラミングや科学の学びを広げ、高校生の海外留学や研修を支援し、未来をつくる力を育てま
す。

外国につながるこどもや若者の日本語学習を支え、国際交流を増やし、多文化共生を進めます。

また、ジェンダー平等や性の多様性の理解を深め、すべての人が自分らしく暮らせる社会を目指し
ます。

3 こどもや若者への切れ目のない保健・医療の提供



こどもが安全に生まれ、健康に育ち、必要な保健医療を受けられる社会をつくりま

そのために、性や妊娠についての正しい知識を広め、健康な体づくりをサポートします。また、妊

娠・出産から子育てまで、切れ目なく医療や相談が受けられる体制を整えます。

病気や障害のあるこどもやその家族への支援を強化し、必要な医療や教育を受けられるようにしま

す。特に、小児がんや難病を抱えるこどもには、オンライン学習や訪問教育を活用し、病気の治療を

続けながら学びを続けられる環境を整えます。

また、児童虐待を防ぐため、妊娠中からの相談支援を強化し、家庭や地域と連携して早期発見・対応

できる体制を整えます。

さらに、不登校や心の悩みを抱えるこどもの相談体制を整え、必要な支援につなげます。すべてのこ

どもが安心して生活し、自分らしく成長できる環境をつくりま

す。

そのために、保育料の一部無償化や学校給食費・学用品の支援を行い、家庭の経済状況にかかわら

ず、教育の機会を広げます。また、ひとり親や生活が苦しい家庭への支援を強化し、こども食堂や学

習支援の場を増やして、こどもが安心して過ごせる場所をつくりま

す。

高校生や大学生には、授業料の支援や奨学金の貸付を行い、経済的な理由で進学をあきらめなくて済

むようにします。さらに、保護者の就職支援や、住宅支援を行い、家庭の安定をサポートします。

困ってるこどもを
見つけて
助けてくれるんだね



4 こどもの貧困対策

すべてのこども・若者が、生まれ育った環境に関係なく、安心して学び、生活できる社会をつくりま

す。

そのために、保育料の一部無償化や学校給食費・学用品の支援を行い、家庭の経済状況にかかわら

ず、教育の機会を広げます。また、ひとり親や生活が苦しい家庭への支援を強化し、こども食堂や学

習支援の場を増やして、こどもが安心して過ごせる場所をつくりま

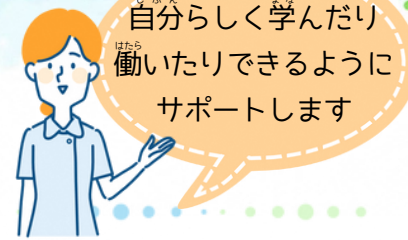
す。

高校生や大学生には、授業料の支援や奨学金の貸付を行い、経済的な理由で進学をあきらめなくて済

むようにします。さらに、保護者の就職支援や、住宅支援を行い、家庭の安定をサポートします。

困っているこどもや若者を早く見つけ、適切な支援につなげるために、関係機関が協力して相談体制

5 障害児支援・医療的ケア児等への支援



すべてのこどもが、障害の有無にかかわらず、自分らしく成長し、学び、社会に参加できるようにします。

そのために、医療的ケアが必要なこどもが安心して生活できるよう、看護師を配置した保育園や学校を増やし、保護者の負担を減らします。また、障害のあるこどもが地域で過ごせるよう、相談窓口を作り支援の手助けをします。

学校では、特別支援教育をもっと充実させ、障害のあるこどもが安心して勉強できるよう、サポートする先生や支援員を増やします。さらに、職業訓練や企業と協力した仕事体験を通じて、将来の就職をサポートします。

また、障害への理解を深めるために、学校や地域での講座やイベントを開き、みんなが差別や偏見をなくし、お互いを尊重しながら暮らせる社会をつくれます。

6 児童虐待防止対策と社会的養護の推進 及びヤングケアラーへの支援

勉強や遊びの時間を
あきらめなくて
いいんだね



こども・若者が安心して育ち、助けが必要なときに支えられる社会をつくれます。

そのために、こどもが虐待を受けることがないように、すぐに相談や保護ができる体制を整えます。

児童相談所の職員を増やし、こどもの安全を守るための対応を強化します。

また、家庭で安心して暮らすことができないこどもには、特別養子縁組や里親制度を活用し、家庭のような環境で育つことができる仕組みをつくれます。施設で暮らすこどもについても、小規模で家庭的な雰囲気のある場所を増やし、落ち着いて生活できる環境を整えます。

ヤングケアラーの問題にも対応し、家族の介護や家事をひとりで抱え込んでしまうこどもを早く見つけ、相談できる場所をつくれます。学校や地域と連携しながら、こどもが学びや遊びの時間を失わないよう、家族以外のサポートを受けられる仕組みをつくれます。

困っているこどもがひとりで悩まないように、周りの大人が気づき、支援につなげることを大切にします。

7 こども・若者の自殺対策、犯罪などから こども・若者を守る取組

つらいときは
電話やLINEで
相談できるんだよ



こども・若者が安全に安心して生きられる社会をつくれます。

そのために、こどもや若者が自殺に追い込まれないように、電話やLINEで相談できる窓口を整え、学校でも助けを求める方法を学ぶ機会を増やします。

インターネットを安全に使えるよう、学校で正しい使い方を学び、家庭でのルール作りを支援します。また、犯罪につながる情報を早めに取り除く仕組みを強化します。

また、犯罪や事故からこどもを守るため、通学路の安全対策を進め、地域の見守り活動を広げます。性犯罪や性暴力を防ぐための教育を行い、被害にあったこどもが安心して相談できる場所を増やします。

さらに、ネットやゲーム依存を防ぐため、相談窓口を設け、学校での学びを進めます。薬物乱用を防ぐため、小さいうちから正しい知識を学ぶ機会を増やします。

非行や問題を抱えるこども・若者が立ち直れるよう、学校や警察、地域が協力し、必要な支援を届けます。



第2 ライフステージ別の施策

(1) こどもの誕生前から幼児期まで

相談できる場所があると
ちょっと
ホッとするよね

1 妊娠前から妊娠期・出産、幼児期までの 切れ目のない保健・医療の確保



赤ちゃんが生まれる前から小学生になるまで、こどもが健康に育ち、家族が安心して子育てできる環境をつくります。

出産準備をサポートするために、妊娠や健康について正しい知識を広め、食事や体調管理について学べる場を提供します。妊婦さんが病院で健康チェックをしっかり受けられるようにし、出産費用の負担を軽くするための助成を行います。出産後は、お医者さんや専門家と連携して赤ちゃんの健康診断や育児相談の機会を増やすことで、子育ての不安を減らします。また、こどもを育てる家庭が気軽に相談できる施設を増やし、経済的な支援を増やすことで、安心して子育てできる環境を整えます。県や市が中心となって、病院や地域の支援機関と協力し、すべてのこどもが安心して成長できる社会をつくります。

2 安全・安心な教育・保育による幼児期までの こどもの成長の保障と遊びの充実



こどもが安心して成長し、遊びや学びを通じて健やかに育つ社会をつくります。

そのために、幼児期から安全で質の高い教育や保育を受けられる環境を整えます。

安心してこどもを預けられるようにするには、保育士を増やすことが大事なため、保育士の資格を取ることを支援したり、働く環境を改善したりします。さらに、保育士の方に、専門的な研修を行うことで、こどもにより良い保育を提供します。障害や病気があるこどもも安心して保育を受けられるように、看護師の配置や必要な設備を整えます。性被害を防ぐための取り組みや、送り迎えの安全管理を行い、こどもが安心して過ごせる施設をつくります。また、遊びを通じて学べる環境を整えます。

県や市が中心となって、地域の保育園や幼稚園と連携し、すべてのこどもが安心して育ち、遊びや学びを楽しめる環境を整えます。

(2) 学童期・思春期

1 安心して過ごし学ぶことのできる 質の高い学校教育の推進



すべてのこどもが他者を尊重し、安心して学べる学校をつくりまします。一人ひとりに合った学びを提供することで、豊かな人生を切り開けるよう支援していきます。

こどもたちが様々な人々と協力しながら「生きる力」や「新たな社会をつくる力」を身につけるための教育や体験活動を推進します。また、障害のあるこどもたちに適切なサポートを提供するとともに、みんなが一緒に学ぶことができるよう学校づくりを進めます。さらに、誰一人取り残さない教育を推進するため、デジタル技術を活用した新しい学びのスタイルを推進します。

くわえて、地域と学校が協力し、こどもを育てる体制をつくりまします。

2 居場所づくり



たくさん遊べたり
わからないことも
教えてもらえる場所！

こどもたちが安心して過ごせる場所を増やし、みんなが笑顔でいられる地域をつくりまします。学校や家庭以外でもこどもが自由に過ごせて、困ったときに相談できる居場所を広げまします。

まず、地域の人たちと協力して学校を中心とした交流の場をつくりまします。また、こども食堂や学習支援を行う団体に寄付金を活用して支援をしていきます。そして放課後に居場所がないこどもをなくすために、放課後児童クラブを増やまします。児童館も整備して、遊びや学びの場を広げる取り組みを進めます。

すべてのこどもが安心して楽しく過ごせる居場所をつくるため、地域全体で協力していきます。



3 小児医療体制、心身の健康等についての 情報提供やこころのケアの充実



体のことも、
心のことも、
なんでも相談してね

すべてのこどもが心も体も健康に育ち、安心して生活できる環境をつくります。必要な医療や支援を受けられる体制を整えるとともに、妊娠や出産に関する正しい知識を広めます。

妊娠・出産に関して相談できる窓口を設けることで、お母さんもこどもも健康を守るための支援を行います。こどもが病気やけがになった時に安心できるよう、救急相談の充実や小児医療の体制をより良くします。学校での性教育を充実させ、思春期の健康を守るための情報提供を進めます。こどもの心の問題に対応するため、専門の医師や相談員を育成し、支援の場を広げる取り組みを進めます。こどもたちが健康で安心して成長できるよう、地域と連携して支えていきます。

4 成年年齢を迎える前に必要となる 知識に関する情報提供や教育

自分で選べる力を
もっと
身につけたい！



こどもたちが大人になる前に、社会で生きていくために必要な知識や経験を身につけられるようにします。消費や仕事、人生設計について学ぶ機会を増やして、自分で考えて行動できる力を育てます。まず、買い物や契約のトラブルを防ぐための消費者教育の授業や講座を実施します。将来の仕事や生活について考えるために、乳幼児とのふれあいや体験学習を行います。また、中高生が企業や地域の仕事を体験できるインターンシップを増やします。就職を目指す若者に向けた職業体験や相談支援を行う取り組みを進めます。

こどもたちが自分の未来をしっかりと考え、社会で活躍できるよう、学校や地域と連携して支えていきます。



5 いじめ防止と不登校のこどもへの支援



こどもたちが安心して学校や社会で過ごせるよう、いじめ防止と不登校への支援を進めます。

いじめを早期に発見し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さらには警察やフリースクールなどの外部機関とも連携し、解決のための取り組みを進めます。

また、不登校のこどもたちが安心して学べる場所を増やすため、フリースクールとの連携を強化するとともに、バーチャルスクールを活用した学びの場を提供します。さらに、こどもたちが戸惑うことなく自分の悩みを相談できる相談体制を構築します。

こどもたちが自分らしく安心して過ごせるよう、学校や地域と連携して支えていきます。

自分らしく
いられる学校って
いいね！



6 こどもの主体性が発揮できる学校づくり

こどもたちが自分の意見を大切にされ、安心して学校生活を送れる環境をつくりまします。県や市町は、時代に合った校則の見直しや、体罰や不適切な指導のない学校づくりを進めます。

こどもが主体的に校則の見直しに関わることを推進するとともに、こどもや保護者の意見を聞きながら各学校で校則を見直す取組を進めます。

こどもたちが人権を尊重し合えるよう、自分や他者を大切にする意識を育てる授業や活動を推進していきます。



7 高校生世代への学びの継続やキャリア形成の支援

高校生世代の若者が学び続け、自分の将来を考えて進んでいける環境をつくります。

悩みや不安を相談しやすい体制を整えるために、高校にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置します。また、学校をやめてしまっても学び直しや就職ができるようにサポートをする相談窓口を設けます。経済的な理由で進学をあきらめないよう、授業料の支援や奨学金の制度を充実させます。大学や専門学校と地域の企業をつなげ、職業体験やインターンシップを広げる取り組みを進めます。

どんな環境のこども・若者も、自分の目標に向かって進めるよう支えていきます。

進学も就職も
相談できるところが
あると安心だね



(3) 青年期

社会に出てからも
学べるのは
うれしい！



1 高等教育の修学支援、高等教育の充実

誰もが学びたい気持ちを大切に、将来の夢を実現できる環境をつくりまします。県や市は、経済的な理由で進学をあきらめることがないよう支援し、学び続けられる機会を広げまします。

まず、授業料の支援や奨学金の貸付を充実させ、高校や大学での学びを支えます。大学や研究機関と企業が連携し、専門的な知識を活かせる場を増やまします。職業訓練やキャリア教育を充実させて、仕事につながる学びを提供まします。社会人になっても学び続けられるよう、生涯学習の講座やイベントを開催する取り組みを進めまします。

すべての人が学びを通じて成長し、社会で活躍できるよう支えていまします。

2 就労支援、雇用と経済的基盤の安定のための取組

若者や女性が安心して働き、住み続けたい地域をつくりまします。静岡で働く魅力を高め、経済的に安定した生活を送れるよう支援まします。

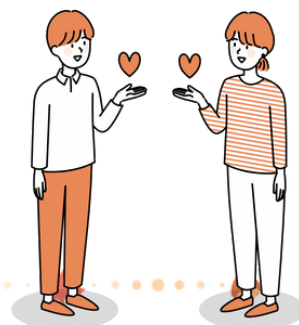
そのために、高校生や若者が地域の仕事を知り、専門的な技術を学べる職業訓練やインターンシップを充実させまします。県内の情報を発信して、Uターン（静岡出身の人が静岡に帰ってくる）やIターン（他の都道府県出身の人が静岡に来る）を支援まします。若者が働きたいと思っている企業を静岡に呼ぶことで、若者が働きたい環境をつくりまします。女性が働き続けやすい職場環境を整えるため、セミナーを開催するなど、企業にもっと理解してもらう取り組みを行います。

若者が安心して働き、女性がさらに活躍できる、魅力あふれる地域をつくりまします。

やりたい仕事
静岡で見つかるって
いいね！



3 結婚を希望する方への支援、結婚に伴う 新生活への支援



結婚を希望する人が安心して新しい生活を始められるよう支援します。安全な出会いの場を提供し、新生活の負担を軽くする取り組みを進めます。

県と市町が運営する「しずおかマリッジ」で、マッチングシステムや婚活相談を実施します。結婚を考える人が気軽に参加できる婚活イベントやセミナーを各地で開催します。市町や企業と連携し、職場や地域での出会いの場づくりを支援します。新婚世帯の家賃や引っ越し費用を補助し、結婚後の生活を経済的に支える取り組みを進めます。

結婚を望む人が安心して新しい一歩を踏み出せる環境をつくります。

LINEで24時間
つながる窓口
うちの子にも教えよう

4 悩みや不安を抱える若者や その家族に対する相談体制の充実



悩みや不安を抱える若者やその家族が安心して相談できる環境を整えます。県や市は、ひきこもりやニート、不登校などの問題を抱える人に寄り添い、支援の場を広げます。

安心して過ごせる居場所を増やすための支援を充実させます。若者が困った時に相談しやすいように、LINEで24時間いつでも相談できる窓口を設置します。そして、就職や社会復帰をサポートするための相談会を開催します。性別や生き方の悩みに対応する相談窓口を整備し、それぞれの悩みに応じた支援を進める取り組みを行います。

一人ひとりが安心して未来を考えられるよう、社会全体で支えていきます。



第3 子育て当事者への支援に関する施策

1 子育てや教育に関する経済的負担の軽減



子育てや教育にかかる経済的な負担を減らし、安心してこどもを育てられる環境を整えます。子育て世帯が直面する費用の負担を軽くし、すべてのこどもが学び続けられるよう支援を進めます。まず、幼稚園や保育園の料金を一部無償化して、子育ての費用を軽減します。小・中学生の必要な家庭には、学用品や給食費の援助を行って、義務教育の負担を減らしていきます。高校や大学に進学する生徒のために、授業料の支援や奨学金の貸し付けを行って、学びの機会を確保します。そして、こどもの医療費を助成し、病気になったときの経済的な心配を減らす取り組みを行います。すべての家庭がこどもを安心して育て、学ばせることができる社会を目指します。

2 地域における子育て支援、家庭教育支援



地域全体で子育てを支え、安心して相談できる環境をつくれます。子育て家庭が孤立せず、地域全体で子育てを支えられるよう取り組みます。

そのためにまず、親子が気軽に交流できる場として、子育て支援センターを増やします。次に、地域でこどもを預かる「ファミリー・サポート・センター」の活動を広げ、助け合える仕組みを強化していきます。また、おじいちゃん・おばあちゃん世代とこどもが、昔遊びや伝統文化を通じて交流できる機会を増やします。そして、子育てや家庭の悩みを相談できる窓口を整え、専門家がサポートする体制を充実させていきます。

地域みんなで支え合い、安心してこどもを育てられる環境をつくれます。



こどもたちと
関わると
生きがいになるねえ

3 共働き・共育ての推進、 男性の家事・子育てへの主体的な参画推進・拡大

育児休業が
ちゃんと取れて
よかった！



誰もが働きやすく、子育ても両立しやすい社会をつくれます。仕事と家庭を両立しやすい環境を整え、男性も女性も自分らしく働き、育児に関われる社会を目指します。

まず、育児休業を取りやすくするために企業の支援や研修を行い、男性が育児にもっと参加できるようにします。多様な人材が活躍するためのダイバーシティ経営や、様々な働き方ができるフレックスタイムやテレワークなどの制度の導入をうながします。女性が職場のリーダーになったり、自分の得意な分野で活躍できたりするように、研修や企業のネットワークづくりを支援していきます。育児と仕事の両立をサポートするために、企業の育児支援制度の普及を進めます。

仕事も家庭も大切にできる社会をつくるために、誰もが安心して働き、子育てできる環境を広げていきます。

4 ひとり親家庭への支援



放課後も友達と
いられる場所が
あるんだね

ひとり親の家庭が安心して生活できる環境をつくれます。ひとり親家庭の経済的な負担を軽くし、こどもが安心して成長できるよう支援を進めます。

まず、児童扶養手当を支給したり、病院での費用を助成したりする経済的な支援を行います。次に仕事と子育ての両立を支えるために、就職相談や放課後児童クラブを安く使えるようにします。また、ひとり親家庭が必要な情報を受け取りやすくするため、LINEなどを活用した相談窓口を充実させます。さらに、養育費の確保を進め、こどもが安定した環境で育つことができるよう取り組みます。

このような取り組みで、ひとり親家庭の不安を減らし、親子が安心して暮らせる社会を目指します。